

外信	5
	2.10

理論物理学国際会議に関する外部との往復通信一束
(1月30日—2月10日)

A. 着 信

1. Fleury から、補助金配分に関する連絡。 (配布資料 119-1 に関する連絡) (1.27 付 Ch. 75)
 - (a) A案(当方から示した2案の内、各招請者に1000ドルをベースとして配分する案)を支持する。
 - (b) 保前金は以上の1000ドル配分者がその額で間に合うかどうかははっきりするまで手をつけないでおくこと。
 - (c) 各招請者がそれぞれユネスコ・ロックフェラーの何れから金を受け取る方がよいかは、配分案が最終的に決定してからでないと決らない。
 - (d) A案に基づいて配分額についての個々の交渉は、デンマーク、イギリス、インド関係は日本側で当ることにすれば、オランダ、イタリア、ドイツ、スイス、フランス関係はIUPAP側で受け持つ。
 - (e) A案以外の配分を希望するならば、その旨連絡してもらいたい。
 - (f) 御回答のあり次第、私(Fleury)から関係各請者に交渉の手紙を出す。
 - (g) 執行委員会については、前に通知した外に、Oliphantの参加がや、確定したが、Heyrowski と Krishnan からは未回答である。
2. Coulson から、旅費の自己調達見込額について (2.2 付 Ch. 53) Royal Society から100ポンドの補助金を受けることに決つた。往復旅費との差額350ポンドを支給されたい。
3. Kelly から、招請状に対する返信(謝絶) (1.26 付 Ch. 64) 自分の日本の科学に対する関心は国際会議への参加によって満足

される以上に深いから、何れももっとゆっくりした機会に日本を訪問したい。National Science Foundation の Waterman 会長には参加をすすめている。

4. ロックフェラー財団から、中間報告受領挨拶 (1.28付 Ch.74)
(外信 3 項目Bの3参照)

B. 発信 (起案中のものを含む)

1. Massey, Pais, Proca; Breit, Hirschfelder, Townes
の6名に対する招請状 (2.2付 Ch.55 — 記事
在京 7 1頁・項目3
参照)

前3者は滞日費用付; 后3者は無補助。

2. Lévyの参加申込に対する回答 (2.6付 Ch.42 — 記事
在京 7 参
照)

ユネスコ・ロックフェラー補助金は既に配分済であるが、自費で参加されるならば歓迎するし、その節は正式招請状も差し上げる。又講演題目も興味深いものであるが、参加される場合、これをプログラムに織り込むことが出来るかどうか協約は出来ない。

3. Fleuryへ補助金配分に関する連絡 (2.10付 Ch.75 — 前出
Aの1項の返信)

(a) 最近各参加者から旅費自己調達額について通知が届いているので、それに基づいて、A案を多少変更する方がよいと思い、同封のような改訂案を作った。

(i) オランダ、イタリア等の参加者に対して旅費補助額に関する交渉を申出られたので、お願いすることにし、参考往復文書を同封する。

外信 5

(?) 執行委員会の招請状は期日が確定しなかったため未だ出してない。当方の都合としては、Registrationの期日を15日から14日に繰上げ、執行委員会を15日と16日にしてはどうかと思っている。

4. Mottへ、旅費補助金配分について連絡 (2.12付, Ch.51 —
外信 4 項目Aの1の返信)

その後 Fleury 事務総長からいろいろ指示を受けた。同封のようなA案の改訂案を送って承認を求めた。CoulsonとPeierlsへは Fleury からの承認のあり次第連絡する。

5. Perrin, de Boerへ、旅費補助金について連絡 (2.12付 Ch.
53 — 外信 4 項目Aの4, 5の返信)

補助金の配分について今 IUPAP の幹部と相談中である。費簡の写を送ったが、いずれ Fleury 事務総長から貴方に連絡がある筈である。

6. Slater, Seitzへ講演題目通知受領挨拶 (Ch.52, Ch.56)

7. Andersonへ参加通知受領挨拶 (2.6付 Ch.57)